

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第 24 報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年9月9日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Anabaena spiroides
var. *crassa*

（アナベナ スピロイデス）
藍藻綱

細胞は球形で、規則正しいらせん状の糸状態を形成する。異形細胞は球形で、アキネートは楕円形である。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris

（ハネウデワムシ）
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、藍藻に属するアナベナ スピロイデスが急激に増加した。本種はジュズモと呼ばれ、カビ臭物質のジオスミンを生成する。毎年夏季から秋季に観察される種類である。動物プランクトンは、ハネウデワムシが優占種となった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

（1）動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	60

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲殻類	<i>Nauplius</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年9月9日

第24報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	2		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	10		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	180		
(藍) <i>Oscillatoria Kawamurae</i> *	2		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	10		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	70		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	170		
(緑) <i>Spondylosium moniliforme</i>	6		
(藍) 藍藻綱	194	35.3	95.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	110	20.0	2.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	43.6	1.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	6	1.1	0.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	550	総体積 (μm^3)	8.72E+06
種 類 数	10		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。